

# わたしたちはフレーバータバコの販売禁止を求めます



青少年の健康と社会的正義のために

## 青少年に的を絞ったマーケティング

未成年の喫煙の80%がフレーバータバコ（メンソール、フルーツなどの香りが含有されるタバコ製品）がきっかけで始まっています<sup>1</sup>。これはタバコ会社が広くは知られたいく無い事実なのです。アメリカではタバコ会社が青少年をターゲットにあの手この手を使って長年マーケティングを繰り返してきました。

## そのマーケティング手法とは

タバコ製品にキャンディのような香り、包装紙、価格を用いることで、青少年が手に取りやすくするのは<sup>2</sup>。フレーバータバコはサンフランシスコのいたるところで販売されており、特にマイノリティや低所得者層の青少年がその危険にさらされています。

## 販売禁止が社会正義になる

フレーバータバコ製品のマーケティングでは青少年の中でもマイノリティが焦点になる傾向があります。その結果、メンソールタバコ（フレーバータバコで販売数が最も多い）を使用する青少年はアフリカ系・アジア系・LGBTなどのマイノリティに偏っています<sup>3-4</sup>。フレーバータバコはこうして社会的弱者の死亡率を上げているのです。

## フレーバータバコについて

### フレーバータバコとは？

- タバコ製品に特徴的な香りづけられた物のことを言います。メンソール、イチゴ味の「Swisher Sweets」葉巻、チョコレート味のフーカー（水タバコ）、フルーツやキャンディ味の葉巻や噛みタバコも含まれます。
- フレーバータバコはタバコ製品である以上、従来の紙タバコと同様の健康被害を及ぼします。ですが、未成年に親しみやすく加工されているのです。
- そして、電子タバコにも、マイノリティの青少年に親しみやすい風味が使われており、グミ、綿あめ、ピニャ・コラーダ、チキン&ワッフル、ホルチャッタ、ポバ・タピオカ味があります。

### サンフランシスコでフレーバータバコの販売を禁止すると

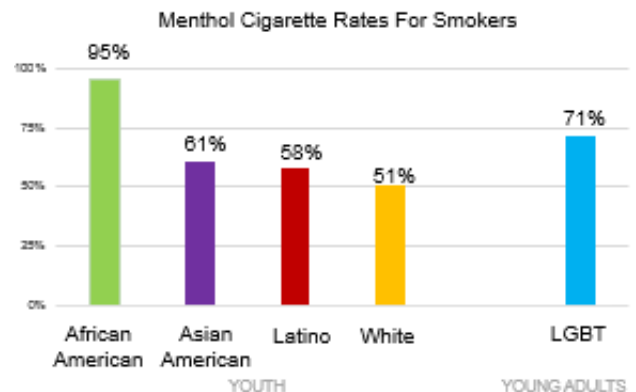
- 喫煙を始める青少年が減少します 未成年喫煙者の80%がフレーバータバコ製品をきっかけに喫煙を始めたのですから<sup>1</sup>、その抑制につながります。
- タバコ会社が青少年をターゲットにしにくくなります タバコは生涯続く依存症と多くの健康被害を引き起こします。成人の喫煙者の9割は18歳未満で喫煙を始めたことが明らかになっています<sup>2</sup>。
- タバコによる死亡率が減少します アメリカ合衆国では、毎年、タバコによる健康被害で54万人が死亡していると推定されます。さまざまな死因の中で、タバコが一番予防・回避できるべきものののです<sup>3</sup>。

### 青少年を狙うフレーバータバコ

- タバコなのにキャンディ味 ポップコーン、綿あめ、グミ、コーラなど味は様々である。
- お菓子のようなパッケージ チョコレート味の葉巻は、バー状のチョコレート菓子のような細長いフォイル包装。ミント味の噛みタバコは緑色の丸い缶に包装されている。
- 低価格設定 香り付き葉巻は1本50セント程度（例「2 for 99 cents」）で、サンフランシスコ全域で販売されている。

### メンソールタバコとマイノリティ

- 未成年喫煙者（12-17歳）の中でも、**アフリカ系アメリカ人の95%**がメンソールタバコを使用しています<sup>4</sup>。これは、タバコ会社によるアフリカ系アメリカ人を対象にした、数十年にもおよぶマーケティング戦略によるものです<sup>5</sup>。メンソールタバコの販売禁止は多くのアフリカ系住民の命を救うことになるのです。
- アジア系アメリカ人では未成年喫煙者の6割が、ラテン系と白人では半数以上**がメンソールタバコを使用しています<sup>4</sup>（グラフ参照）。
- LGBTの未成年喫煙者は7割**がメンソールタバコを使用しており<sup>6</sup>、18-24歳のメンソールタバコ喫煙者よりも高い数値です。



- 男女を比較すると、10代の**女子は男子よりメンソールタバコの喫煙率が高く**<sup>4</sup>、20代ではその率が男性の2倍になります。

### フレーバータバコ製品による健康被害

- 香料がタバコ自体の味を軽減しても、健康被害は軽減されません。
- メンソールによって禁煙が難しくなる傾向にあり、特に若年層やマイノリティではその悪影響が大きいのです<sup>8</sup>。
- 現在販売されている香り付き電子タバコの75%にジアセチルが含まれると推定されます。ジアセチルとは市販の電子レンジ調理用ポップコーンに含まれるバター風味の添加物で、長期間吸引すると、再生不能な呼吸器疾患である「ポップコーン肺」（閉塞性気管支炎）を起こしうるものです<sup>9</sup>。
- 電子タバコはすでに心臓疾患につながるということがわかっており、電子タバコと従来の紙タバコを併用した場合には心臓疾患の発生が40%の割合で増加します<sup>10</sup>。
- 紙タバコは吸わないが電子タバコを吸っている10代の若者は、どちらも吸わない10代の若者に比べて、1年後に紙タバコを吸っている可能性が3倍以上高いというデータが出ています<sup>11</sup>。

### 他地域の動向

- カリフォルニア州では、サンタクララ郡とヨーロー郡の未編入地域で2016年秋に販売が禁止になっています。
- コントラコスタ郡とオークランド市では現在検討中です。
- シカゴ、ニューヨーク、ミネアポリス、プロビデンス、バークレーの各都市では大幅な販売制限が行われています。
- 連邦議会は2009年、香り付き紙タバコの販売を禁止しましたが、メンソールタバコとその他の香り付きタバコ製品（電子タバコや葉巻など）は対象外となりました。全種の香り付きタバコ製品の販売禁止をサンフランシスコで実現することが、この抜け穴を塞ぐことになるのです。



### Breathe California の活動

- Breathe California プロジェクト E-NUFF は2015年にフレーバータバコ製品の販売禁止を訴えるキャンペーンを開始しました。プロジェクトチームは地域の若手リーダーたちを中心に構成され、タバコ会社が青少年をターゲットにフレーバータバコ製品の販売を進めてきた事実について啓発活動をしてきました。
- 私たちの活動内容は、10代の若者たち対象のアンケート調査、地域の大人たちを集めたフォーカスグループ調査、キーパーソンに対する聞き取り調査、政策の現状調査、署名集め、地域団体とのパートナーシップの構築など、多岐に渡ります。
- プロジェクト E-NUFF は San Francisco Department of Public Health の支援で始まり、Youth Leadership Institute や Bay Area Community Resources、 Vietnamese Youth Development Center などの未成年の喫煙予防を進めてきた、地域の青少年団体とも協働しています。

#### SOURCES

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Ambrose BK, et al., "Flavored Tobacco Product Use Among US Youth Aged 12-17 Years, 2013-2014." JAMA 2015; 314(17): 1871-1873.</li> <li>2. US Department of Health and Human Services. 2012. Preventing Tobacco Use Among Youth and Young Adults: A Report of the Surgeon General. Atlanta: US Department of Health and Human Services, Centers for Disease Control and Prevention, National Center For Chronic Disease Prevention And Health Promotion, Office on Smoking and Health.</li> <li>3. Carter B, et al., "Smoking and Mortality – Beyond Established Causes", New England Journal of Medicine, 2015:372:631-40.</li> <li>4. Giovino GA, et al., "Differential trends in cigarette smoking in the USA: is menthol slowing progress?" Tobacco Control 2015; 24: 28-37.</li> <li>5. Gardiner PS. 2004. The African Americanization of menthol cigarette use in the United States. Nicotine and Tobacco Research 6(Suppl 1): S55-S65.</li> <li>6. National Youth Advocacy Coalition. 2010. "Coming Out About Smoking: A Report from the National LGBTQ Young Adult Tobacco Project."</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>7. Rath J., et al., Correlates of current menthol cigarette and flavored other tobacco product use among U.S. young adults. Addictive Behaviors 62 (2016) 35-41.</li> <li>8. Foulds J, et al. 2010. Do Smokers of Menthol Cigarettes Find It Harder to Quit Smoking? Nicotine Tob Res (2010) 12 (suppl_2): S102-S109.</li> <li>9. Allen JG. 2016. Flavoring Chemicals in E-Cigarettes: Diacetyl, 2,3-Pentanedione, and Acetoin in a Sample of 51 Products, Including Fruit-, Candy-, and Cocktail-Flavored E-Cigarettes. Environmental Health Perspectives 124(6): 733-739.</li> <li>10. Temesgen N, et al. 2017. A cross sectional study reveals an association between electronic cigarette use and myocardial infarction. School of Medicine and Health Sciences Poster Presentations, George Washington University.</li> <li>11. Primack BA, et al. 2015. Progression to Traditional Cigarette Smoking After Electronic Cigarette Use Among US Adolescents and Young Adults. JAMA Pediatrics 169(11): 1018-1023.</li> </ol> |
|--|--|